

朝の館内放送

令和6年8月5日

おはようございます、市長の中村健です。

現在、パリオリンピックが開催中で、連日のように日本人選手が活躍している姿を見て、非常に嬉しくテンションが上がっています。

メダル獲得が本命視された選手が苦戦することもある一方で、新たなヒーローやヒロインが生まれ、スポーツが呼び起こす感動のすごさに改めて驚いています。

そのような中で個人的に印象に残ったのは、競泳の女子200メートル平泳ぎで4位入賞した鈴木聡美選手です。

鈴木選手は、2012年に開催されたロンドンオリンピックにおいて、100メートル平泳ぎで銅メダル、200メートル平泳ぎで銀メダル、メドレーリレーで銅メダルという快挙を成し遂げ、一躍注目を浴びることとなった選手です。

しかし、その後は不振に陥り、2016年のリオデジャネイロオリンピックでは予選敗退、2020年の東京オリンピックにおいては出場自体が叶いませんでした。

その後、周囲の励ましもあって現役続行を決め、そこで取り組んだのが泳法の改革です。

長年なじんだ泳ぎ方を変えるのが容易ではないことは想像に難くありませんが、「変化なしに進化はない」というコーチの言葉を素直に受け入れ、泳ぎのスタイルを大きく変えたそうです。

すぐに成果が出なくても、諦めずに粘り強く取り組んだ結果、2023年に出場した世界選手権の100メートル平泳ぎにおいて、14年ぶりに自己ベストを更新。

18歳の時に出した記録を32歳になって超えるという離れ業を成し遂げたのでした。

そこに至るまでの並々ならぬ努力の積み重ねに加え、勇気をもって変化を受け入れたことが大きな転機となったわけですが、この「変化を受け入れる」という姿勢はビジネスにおいても重要なのは言うまでもありません。

自分なりの流儀や哲学を持つことは悪いことではありません。

しかし、時代の変化に対応していくことも同時に重要です。

「変える」ことが怖いと思いませんか？

「変える」ことが面倒くさいと思いませんか？

今までのやり方が当然だと決めつけるのではなく、変化を受け入れる姿勢を持って仕事に取り組みましょう。

以上で、朝の館内放送を終わります。